

脊椎動物

哺乳類レッドリスト

・哺乳類 選定結果の概要

哺乳類における選定結果は、指定変更 1 件、新規指定 2 件を含む 27 種 28 件で、指定解除はなく、青森県 R D B (2000) と比べ指定件数は 2 件増となった。その内容は以下のとおりである。

E X ランク (絶滅) にニホンアシカが加わり、ニホンユビナガコウモリが C ランクから B ランクへ格上げとなり、L P (北下半島) として指定されていたホンドザルは L P (津軽半島) としても指定された。

ニホンアシカが E X ランクに指定されたのは、2000 年以降に青森県近海で絶滅したということではなく、2000 年度版では海棲哺乳類は対象外であったのが、今回の改訂増補版で海棲哺乳類も対象となったためである。

ニホンアシカは、環境省版レッドデータブックによると絶滅危惧 A 種となっていて (阿部 , 2002)、青森県久六島で 1950 年代初期まで少数が繁殖していたとある。また、日本動物大百科第 2 巻哺乳類 (平凡社 , 1996) の解説では、最近 50 年の生息記録がある地点に久六島があげられている。さらに、水産庁編の日本の希少な野生水生生物に関するデータブックの中で、1953 年まで繁殖 (伊藤 , 2000) とある。和田・伊藤 (1999) でも繁殖地に久六島があげられている。これらの他にも一般的な動物解説書に本種の繁殖地として久六島の記載が散見される。したがって、久六島で本種が繁殖していたことはまちがいない。

本種の個体数については、明治維新前には 3 万 ~ 5 万頭が生息していたと推定され、目撃情報については、1975 年が最後とされる (和田・伊藤 , 1999)。一方、本県についてみると、最近の調査によると久六島の生息情報はなく、本県における本種の生息は注目されていない。深浦町久六島において 1953 年まで繁殖していたのが事実で、現在ではすでに 50 年以上が経過している。以上のことから、絶滅種と判断した。しかし、本県において本種も含めて海棲哺乳類全般について生息情報が少ないことから、科学的な現状把握調査が必要である。

ニホンユビナガコウモリは、本県における記録は深浦町ガンガラ穴の海喰洞と深浦町北金ヶ沢の廃坑が繁殖地として知られている。西目屋村の津軽ダム建設予定地でも、コロニーが周年確認されているが繁殖は確認されていない。以上の 3 地点以外にはコロニーが確認されていない。また、本県東部からは階上町で 1 頭が拾得されただけで、本種の生息は西海岸に限られている。さらに、北海道からは未発見で、本県が北限の生息地である (阿部ほか , 2005)。

下泉 (1970) は津軽半島の日本海沿岸の海喰洞には各所に生息しているとしているが現在では確認されない。ガンガラ穴のコウモリについては古くは 1928 年 東奥日報社発行の青森県総覧にすでに記述が見られ、その後も多くの書物に記録があり、数千頭の本種が繁殖しているとみられていた。しかし、その生息数については科学的調査

が行われていない。向山(2004)は減少傾向を指摘している。減少の理由ははっきりしないが、観光船の出入りによるかく乱も考えられている。また、北金ヶ沢の廃坑については比較的最近になって繁殖利用があることが分かったが科学的調査はこれからである。しかし、防災上のためと思われるが改変が行われている。津軽ダム建設予定地の生息場所はダム建設進行に伴い、消失もしくは利用不可能が予測されている。これから保全のために移住策が検討されているが、本種の人為的移住は世界に例がなく、不安定な状況である。本種に関する以上の状況からCランクからBランクに変更した。

青森県のニホンザルは下北半島、白神山地とその周辺域、津軽半島の3つの地域集団に分けられ、下北半島集団がLP(絶滅のおそれのある地域個体群)にランクされている(青森県,2000)。下北半島の集団及び白神山地とその周辺域の集団に関しては、生息数など詳しい実態調査が行われているが、津軽半島の集団に関しては大井ら(1997)の報告以降の調査記録はなく、最近の実態はよく分かってはいない。文献的には1960年代にまでさかのぼるが(竹下,1964;東,1966)東(1966)の報告によれば、当時津軽半島には大倉岳・袴腰岳以北の津軽山地に8~9群、220~280頭が生息していた。その後1990年前後の調査では群れ数も遊動域も変化はなく、農作物への被害もほとんどなかった(自然環境研究センター,1994;森,2002)。1996年に今別町での0.1haの水稲被害が報告されている(大井ほか,1997)が、その後公的な食害報告はない。しかし、最近陸奥湾に面する津軽山地の山里で、ニホンザルによる農作物の食害苦情をよく耳にする。津軽山地の山奥で生活していたニホンザルが山里に出没するようになったのは、個体数が増えすぎてその一部がはみ出してきたのではなく、本来の生息域であった津軽半島の生息環境が森林伐採等で悪化していることが一因となっていると思われる。

現在、津軽半島でのニホンザルの群れは、梵珠山・県民の森あたりでも頻繁に見かけられるようになり(間山,2003)生息域が南へ広がっているように思われる。

しかし、津軽半島全域での生息数はもちろん、梵珠山域での生息数もまだよく分かっておらず、津軽半島でのニホンザルの詳しい生息数調査・生態調査が望まれる。

(小原良孝・向山満)

・哺乳類 選定結果

No.	和名 学名	目・科名	カテゴリー	環境省カテゴリー
1	ニホンオオカミ	ネコ目・イヌ科	EX	EX
	<i>Canis lupus hodophilax</i> Temminck			
2	ニホンカワウソ	ネコ目・イタチ科	EX	A類
	<i>Lutra nippon</i> Imaizumi et Yoshiyuki			

3	ニホンイノシシ	ウシ目・イノシシ科	E X	該当なし
	<i>Sus leucomystax</i> Temminck			
4	ホンドジカ	ウシ目・シカ科	E X	該当なし
	<i>Cervus nippon nippon</i> Temminck			
5	ニホンアシカ	アザラシ目・アシカ科	E X	A 類
	<i>Zalophus californianus japonicus</i> (Peters)			
6	クロホオヒゲコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	A	B 類
	<i>Myotis pruinosus</i> Yoshiyuki			
7	ホンドノレンコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	A	B 類
	<i>Myotis nattereri bombinus</i> Thomas			
8	モリアブラコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	A	B 類
	<i>Pipistrellus endoi</i> Imaizumi			
9	コヤマコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	A	B 類
	<i>Nyctalus furvus</i> Imaizumi et Yoshiyuki			
10	フジホオヒゲコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	B	類
	<i>Myotis fujiensis</i> Imaizumi			
11	カグヤコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	B	類
	<i>Myotis frater kaguyae</i> Imaizumi			
12	ヤマコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	B	類
	<i>Nyctalus aviator</i> Thomas			
13	ヒナコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	B	類
	<i>Vespertilio superans</i> Thomas			
14	ニホンウサギコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	B	類
	<i>Plecotus auritus sacrimontis</i> G. Allen			
15	ニホンユピナガコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	B	該当なし
	<i>Miniopterus schreibersi fuliginosus</i> (Hodgson)			
16	ニホンテングコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	B	類
	<i>Murina hilgendorfi</i> (Peters)			
17	ニホンコテングコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	B	類
	<i>Murina silvatica</i> Yoshiyuki			

18	シナノミズラモグラ	モグラ目・モグラ科	C	NT
	<i>Euroscaptor mizura ohtai</i> (Imaizumi)			
19	ホンドオコジヨ	ネコ目・イタチ科	C	NT
	<i>Mustela erminea nippon</i> Cabrera			
20	ヤマネ	ネズミ目・ヤマネ科	C	NT
	<i>Glirulus japonicus</i> (Schinz)			
21	ホンドモモンガ	ネズミ目・リス科	C	該当なし
	<i>Pteromys momonga</i> Temminck			
22	ニッコウムササビ	ネズミ目・リス科	C	該当なし
	<i>Petaurista leucogenys nikkonis</i> Thomas			
23	クロオオブラコウモリ	コウモリ目・ヒナコウモリ科	D	DD
	<i>Pipistrellus savii velox</i> (Ognev)			
24	ニホンカワネズミ	モグラ目・トガリネズミ科	L P (津軽山地)	該当なし
	<i>Chimarrogale himalayica platycephala</i> (Temminck)			
25	ニホンイイズナ	ネコ目・イタチ科	L P (南部地方)	NT
	<i>Mustela nivalis namiyei</i> Kuroda			
26	ニホンツキノワグマ	ネコ目・クマ科	L P (下北半島)	L P (下北半島)
	<i>Selenarctos thibetanus japonicus</i> (Schlegel)			
27	ホンドザル	サル目・オナガザル科	L P (下北半島)	L P (下北半島)
	<i>Macaca fuscata fuscata</i> Blyth			
28	ホンドザル	サル目・オナガザル科	L P (津軽半島)	L P (東北地方)
	<i>Macaca fuscata fuscata</i> Blyth			

鳥類レッドリスト

・鳥類 選定結果の概要

カテゴリーAとしていたコウノトリは1990年代前半までは極まれに冬鳥的な渡来があった。しかし、近年は県内の出現記録がないこと、県外のまれな渡来も出現時期、出現場所が一定しない迷鳥であることから、青森県でも迷鳥あつかいとして削除した。

全国的にもまれな種、ヒメクイナ、シマクイナが三沢市北部の湿地で生息が認められたことからカテゴリーAに追加した。特にシマクイナは生態不明な種であるが、夏季の複数個体出現が3年連続で記録され、今後、繁殖など生態解明が期待される。

また、毎年渡来するが個体数の少ない冬鳥ハシビロガモ、コオリガモ、近年減少が目立つ夏鳥バン、ジュウイチ、ヨタカをカテゴリーCに、かつて生息情報があり現況不明である草原の鳥セッカをカテゴリーDに追加した。

近年減少が著しく出現記録がまれとなった夏鳥ウズラ、ヒクイナ、チゴモズ、アカモズをカテゴリーAに、平地から低山帯の林地減少にともない出現がまれとなった小型の猛禽類ツミ、湿地の減少などから繁殖地や生息数が減少しつつあるケリ、樹木の減少などから人家の周辺で出現がまれになったオオコノハズク、アオバズクをカテゴリーBに変更した。

また、湿地、水田に冬季滞在するタゲリは、冬季出現のカモ類などと合わせてカテゴリーCに変更した。

(小山信行)

・鳥類 選定結果

No.	和名	目・科名	カテゴリー	環境省カテゴリー
	学名			
1	コシジロウミツバメ	ミズナギドリ目・ウミツバメ科	A	該当なし
	<i>Oceanodroma leucorhoa leucorhoa</i> (Vieillot)			
2	サンカノゴイ	コウノトリ目・サギ科	A	B類
	<i>Botaurus stellaris stellaris</i> (Linnaeus)			
3	オオヨシゴイ	コウノトリ目・サギ科	A	B類
	<i>Ixobrychus eurhythmus</i> (Swinhoe)			
4	ミゾゴイ	コウノトリ目・サギ科	A	NT
	<i>Gorsachius goisagi</i> (Temminck)			
5	クマタカ	タカ目・タカ科	A	B類
	<i>Spizaetus nipalensis orientalis</i> Temminck et Schlegel			
6	イヌワシ	タカ目・タカ科	A	B類
	<i>Aquila chrysaetos japonica</i> Severtzov			

7	ウズラ	キジ目・キジ科	A	DD
	<i>Coturnix japonica</i> Temminck et Schlegel			
8	ヒメクイナ	ツル目・クイナ科	A	該当なし
	<i>Porzana pusilla pusilla</i> (Pallas)			
9	ヒクイナ	ツル目・クイナ科	A	該当なし
	<i>Porzana fusca erythrothorax</i> (Temminck et Schlegel)			
10	シマクイナ	ツル目・クイナ科	A	類
	<i>Coturnicops noveboracensis exquisitus</i> (Swinhoe)			
11	ヘラシギ	チドリ目・シギ科	A	B類
	<i>Eurynorhynchus pygmeus</i> (Linnaeus)			
12	コアジサシ	チドリ目・カモメ科	A	類
	<i>Sterna albifrons sinensis</i> Gmelin			
13	ケイマフリ	チドリ目・ウミスズメ科	A	類
	<i>Cephus carbo</i> Pallas			
14	クマゲラ	キツツキ目・キツツキ科	A	類
	<i>Dryocopus martius martius</i> (Linnaeus)			
15	チゴモズ	スズメ目・モズ科	A	類
	<i>Lanius tigrinus</i> Drapiez			
16	アカモズ	スズメ目・モズ科	A	NT
	<i>Lanius cristatus superciliosus</i> Latham			
17	オオセッカ	スズメ目・ウグイス科	A	B類
	<i>Locustella pryeri pryeri</i> (Seebohm)			
18	カンムリカイツブリ	カイツブリ目・カイツブリ科	B	LP (青森県)
	<i>Podiceps cristatus cristatus</i> (Linnaeus)			
19	クロサギ	コウノトリ目・サギ科	B	該当なし
	<i>Egretta sacra sacra</i> (Gmelin)			
20	シノリガモ	カモ目・カモ科	B	LP (東北地方以北)
	<i>Histrionicus histrionicus pacificus</i> Brooks			
21	オジロワシ	タカ目・タカ科	B	B類
	<i>Haliaeetus albicilla albicilla</i> (Linnaeus)			

22	オオワシ	タカ目・タカ科	B	類
	<i>Haliaeetus pelagicus pelagicus</i> (Pallas)			
23	オオタカ	タカ目・タカ科	B	類
	<i>Accipiter gentilis fujiyamae</i> (Swann et Hartert)			
24	ツミ	タカ目・タカ科	B	該当なし
	<i>Accipiter gularis gularis</i> (Temminck et Schlegel)			
25	ケアシノスリ	タカ目・タカ科	B	該当なし
	<i>Buteo lagopus menzbieri</i> Dementiev			
26	ハイイロチュウヒ	タカ目・タカ科	B	該当なし
	<i>Circus cyaneus cyaneus</i> (Linnaeus)			
27	チュウヒ	タカ目・タカ科	B	類
	<i>Circus spilonotus spilonotus</i> Kaup			
28	ハヤブサ	タカ目・ハヤブサ科	B	類
	<i>Falco peregrinus japonensis</i> Gmelin			
29	クイナ	ツル目・クイナ科	B	該当なし
	<i>Rallus aquaticus indicus</i> Blyth			
30	イカルチドリ	チドリ目・チドリ科	B	該当なし
	<i>Charadrius placidus japonicus</i> Mishima			
31	ケリ	チドリ目・チドリ科	B	該当なし
	<i>Vanellus cinereus</i> (Blyth)			
32	サルハマシギ	チドリ目・シギ科	B	該当なし
	<i>Calidris ferruginea</i> (Pontoppidan)			
33	キリアイ	チドリ目・シギ科	B	該当なし
	<i>Limicola falcinellus sibirica</i> Dresser			
34	アカアシシギ	チドリ目・シギ科	B	類
	<i>Tringa totanus ussuriensis</i> Buturlin			
35	カラフトアオアシシギ	チドリ目・シギ科	B	A類
	<i>Tringa guttifer</i> (Nordmann)			
36	ダイシャクシギ	チドリ目・シギ科	B	該当なし
	<i>Numenius arquata orientalis</i> Brehm			

37	ホウロクシギ	チドリ目・シギ科	B	類
	<i>Numenius madagascariensis</i> (Linnaeus)			
38	セイタカシギ	チドリ目・セイタカシギ科	B	B類
	<i>Himantopus himantopus himantopus</i> (Linnaeus)			
39	ツバメチドリ	チドリ目・ツバメチドリ科	B	類
	<i>Glareola maldivarum</i> Forster			
40	コノハズク	フクロウ目・フクロウ科	B	該当なし
	<i>Otus scops japonicus</i> Temminck et Schlegel			
41	オオコノハズク	フクロウ目・フクロウ科	B	該当なし
	<i>Otus lempiji semitorques</i> Temminck et Schlegel			
42	アオバズク	フクロウ目・フクロウ科	B	該当なし
	<i>Ninox scutulata japonica</i> (Temminck et Schlegel)			
43	アカショウビン	ブッポウソウ目・カワセミ科	B	該当なし
	<i>Halcyon coromanda major</i> (Temminck et Schlegel)			
44	ブッポウソウ	ブッポウソウ目・ブッポウソウ科	B	類
	<i>Eurystomus orientalis calonyx</i> Sharpe			
45	サンショウクイ	スズメ目・サンショウクイ科	B	類
	<i>Pericrocotus divaricatus divaricatus</i> (Raffles)			
46	コジュリン	スズメ目・ホオジロ科	B	類
	<i>Emberiza yessoensis yessoensis</i> (Swinhoe)			
47	オオジュリン	スズメ目・ホオジロ科	B	該当なし
	<i>Emberiza schoeniclus pyrrhulina</i> (Swinhoe)			
48	カワウ	ペリカン目・ウ科	C	該当なし
	<i>Phalacrocorax carbo hanedae</i> Kuroda			
49	ヨシゴイ	コウノトリ目・サギ科	C	該当なし
	<i>Ixobrychus sinensis sinensis</i> (Gmelin)			
50	チュウサギ	コウノトリ目・サギ科	C	NT
	<i>Egretta intermedia intermedia</i> (Wagler)			
51	コクガン	カモ目・カモ科	C	類
	<i>Branta bernicla orientalis</i> Tugarinov			

52	マガン	カモ目・カモ科	C	NT
	<i>Anser albifrons frontalis</i> Baird			
53	オオヒシクイ	カモ目・カモ科	C	NT
	<i>Anser fabalis middendorffii</i> Severtzov			
54	ヒシクイ	カモ目・カモ科	C	類
	<i>Anser fabalis serrirostris</i> Swinhoe			
55	オシドリ	カモ目・カモ科	C	該当なし
	<i>Aix galericulata</i> (Linnaeus)			
56	トモエガモ	カモ目・カモ科	C	類
	<i>Anas formosa</i> Georgi			
57	ヨシガモ	カモ目・カモ科	C	該当なし
	<i>Anas falcata</i> Georgi			
58	オカヨシガモ	カモ目・カモ科	C	該当なし
	<i>Anas strepera strepera</i> Linnaeus			
59	シマアジ	カモ目・カモ科	C	該当なし
	<i>Anas querquedula</i> Linnaeus			
60	ハシビロガモ	カモ目・カモ科	C	該当なし
	<i>Anas clypeata</i> Linnaeus			
61	ピロードキンクロ	カモ目・カモ科	C	該当なし
	<i>Melanitta fusca stejnegeri</i> (Ridgway)			
62	コオリガモ	カモ目・カモ科	C	該当なし
	<i>Clangula hyemalis</i> (Linnaeus)			
63	ミサゴ	タカ目・タカ科	C	NT
	<i>Pandion haliaetus haliaetus</i> (Linnaeus)			
64	ハチクマ	タカ目・タカ科	C	NT
	<i>Pernis apivorus orientalis</i> Taczanowski			
65	ハイタカ	タカ目・タカ科	C	NT
	<i>Accipiter nisus nisosimilis</i> (Tickell)			
66	サシバ	タカ目・タカ科	C	該当なし
	<i>Butastur indicus</i> (Gmelin)			

67	チゴハヤブサ	タカ目・ハヤブサ科	C	該当なし
	<i>Falco subbuteo subbuteo</i> Linnaeus			
68	チョウゲンボウ	タカ目・ハヤブサ科	C	該当なし
	<i>Falco tinnunculus interstinctus</i> McClelland			
69	ヤマドリ	キジ目・キジ科	C	該当なし
	<i>Syrnaticus soemmerringii scintillans</i> (Gould)			
70	バン	ツル目・クイナ科	C	該当なし
	<i>Gallinula chloropus indica</i> Blyth			
71	タゲリ	チドリ目・チドリ科	C	該当なし
	<i>Vanellus vanellus</i> (Linnaeus)			
72	ヤマシギ	チドリ目・シギ科	C	該当なし
	<i>Scolopax rusticola</i> Linnaeus			
73	オオジシギ	チドリ目・シギ科	C	NT
	<i>Gallinago hardwickii</i> (Gray)			
74	アオシギ	チドリ目・シギ科	C	該当なし
	<i>Gallinago solitaria japonica</i> (Bonaparte)			
75	アオバト	ハト目・ハト科	C	該当なし
	<i>Sphenurus sieboldii sieboldii</i> (Temminck)			
76	ジュウイチ	カッコウ目・カッコウ科	C	該当なし
	<i>Cuculus fugax hyperythrus</i> Gould			
77	トラフズク	フクロウ目・フクロウ科	C	該当なし
	<i>Asio otus otus</i> (Linnaeus)			
78	フクロウ	フクロウ目・フクロウ科	C	該当なし
	<i>Strix uralensis hondoensis</i> (Clark)			
79	ヨタカ	ヨタカ目・ヨタカ科	C	該当なし
	<i>Caprimulgus indicus jotaka</i> Temminck et Schlegel			
80	ヤマセミ	ブッポウソウ目・カワセミ科	C	該当なし
	<i>Ceryle lugubris lugubris</i> (Temminck)			
81	アリスイ	キツツキ目・キツツキ科	C	該当なし
	<i>Jynx torquilla japonica</i> (Bonaparte)			

82	オオアカゲラ	キツツキ目・キツツキ科	C	該当なし
	<i>Dendrocopos leucotos stejnegeri</i> (Kuroda)			
83	セグロセキレイ	スズメ目・セキレイ科	C	該当なし
	<i>Motacilla grandis</i> Sharpe			
84	カヤクグリ	スズメ目・イワヒバリ科	C	該当なし
	<i>Prunella rubida</i> (temminck et Schlegel)			
85	コマドリ	スズメ目・ツグミ科	C	該当なし
	<i>Erithacus akahige akahige</i> (Temminck)			
86	マミジロ	スズメ目・ツグミ科	C	該当なし
	<i>Turdus sibiricus davisoni</i> (Hume)			
87	クロツグミ	スズメ目・ツグミ科	C	該当なし
	<i>Turdus cardis</i> Temminck			
88	サンコウチョウ	スズメ目・カササギヒタキ科	C	該当なし
	<i>Terpsiphone atrocaudata atrocaudata</i> (Eyton)			
89	キバシリ	スズメ目・キバシリ科	C	該当なし
	<i>Certhia familiaris japonica</i> Hartert			
90	ノジコ	スズメ目・ホオジロ科	C	NT
	<i>Emberiza sulphurata</i> Temminck et Schlegel			
91	クロジ	スズメ目・ホオジロ科	C	該当なし
	<i>Emberiza variabilis</i> Temminck			
92	ホシガラス	スズメ目・カラス科	C	該当なし
	<i>Nucifraga caryocatactes japonica</i> Hartert			
93	セッカ	スズメ目・ウグイス科	D	該当なし
	<i>Cisticola juncidis brunniceps</i> (Temminck et Schlegel)			

爬虫類・両生類レッドリスト

・爬虫類・両生類 選定結果

検討した結果、青森県 R D B (2000) からの変更はない。

(奈良典明)

・爬虫類・両生類 選定結果

No.	和名	目・科名	カテゴリー	環境省カテゴリー
	学名			
1	タカチホヘビ	トカゲ目・ヘビ科	A	該当なし
	<i>Achalinus spinalis</i> Peters			
2	シロマダラ	トカゲ目・ヘビ科	B	該当なし
	<i>Dinondon orientalis</i> (Hilgendorf)			
3	クロサンショウウオ	サンショウウオ目・サンショウウオ科	C	該当なし
	<i>Hynobius nigrescens nigrescens</i> Stjneger			
4	クサガメ	カメ目・イシガメ科	D	該当なし
	<i>Geoclemys reevesii</i> (Gray)			
5	ヒバカリ	トカゲ目・ヘビ科	D	該当なし
	<i>Natrix vibakari vibakari</i> (Boie)			

汽水・淡水魚類レッドリスト

・汽水・淡水魚類 選定結果の概要

青森県における在来種の淡水魚の生息条件は基本的に改善されていない。外来魚問題ではオオクチバスのほか、特に近年目立つのはブルーギルの生息報告の多さである。ブルーギルがオオクチバスと一緒に放流されると、在来魚への悪影響は一層深刻になる。ヤリタナゴ、タナゴ、シナイモツゴの3種をはじめとして、平地の止水にすむ魚種の生息が脅かされている状況は現在も進行中である。一方で、メダカの生息を念頭においたいくつかのビオトープが造成されたが、これも本質的な問題解決には程遠い。

今回の改訂では新たに汽水性魚類2種を追加した。アカオビシマハゼとヒモハゼである。これらを新たに追加した背景には、汽水環境の持つ共通の問題がある。まず情報の少なさが指摘される。県内の淡水魚の生息状況に関しては、竹内ほかによる総合的な調査(1985)以後、ここ20年ほどの間に「河川水辺の国勢調査」など多くの調査がなされてきた。しかし、それら調査のほとんどは純淡水域に限られており、汽水域を精査した例はごく少なく、汽水環境に特徴的な魚類についての情報は限られていた。

次に、汽水環境の危うさの問題がある。もともと、淡水と海水とが入り混じる汽水域は生息場所としては狭い。その上、多くの河川の河口部付近は人家が密集しており、開発や改修の行われやすい場所である。そのため、例えば降海型のイトヨの繁殖地は奪われ、河口部にすむメダカの個体群はほとんど消滅したと思われる。生息が汽水に限定される魚種の場合は一層深刻な問題だったろう。

以上のような理由から、汽水にすむアカオビシマハゼとヒモハゼの2種を新たにDランク(要調査野生生物)に指定した。これでDランクの汽水魚は、すでに指定済みのチチブと併せて3種になる。これらはいずれもハゼ科に属するが、チチブとアカオビシマハゼとが同属でずんぐりした形態も似ているのに対し、ヒモハゼは細長く頭部も小さく、形態は大きく異なる。さらに、前2種が水中構造物の多い場所を好むのに対し後者は干潟のような場所に住むなど生態も異なる。また、限られた情報ではあるが、同属でもチチブとアカオビシマハゼとは県内での生息地は同じではないようだ。このように、汽水にすむハゼ科魚種とはいっても上記3種はそれぞれに生態・形態などが異なっている。

汽水環境とひとことにいっても、塩分濃度や底質、植生、潮汐の影響のあり方など多様である。そこにすむ魚類の生息状況を環境と同時に調べて実態を明らかにすることは保全のための急務だといえよう。

(佐原雄二)

・汽水・淡水魚類 選定結果

No.	和名	目・科名	カテゴリー	環境省カテゴリー
	学名			
1	イトウ	サケ目・サケ科	E X	B類
	<i>Hucho perryi</i> (Brevoort)			
2	シナイモツゴ	コイ目・コイ科	A	B類
	<i>Pseudorasbora pumila pumila</i> Miyadi			
3	ヤリタナゴ	コイ目・コイ科	A	該当なし
	<i>Tanakia lanceolata</i> (Temminck et Schlegel)			
4	タナゴ	コイ目・コイ科	A	N T
	<i>Acheilognathus melanogaster</i> (Bleeker)			
5	ギバチ	ナマズ目・ギギ科	A	類
	<i>Pseudobagrus tokiensis</i> Döderlein			
6	ハナカジカ	カサゴ目・カジカ科	A	L P (東北地方)
	<i>Cottus nozawae</i> Snyder			
7	スナヤツメ	ヤツメウナギ目・ヤツメウナギ科	B	類
	<i>Lampetra reissneri</i> (Dybowski)			

8	メダカ	ダツ目・メダカ科	B	類
	<i>Oryzias latipes</i> (Temminck et Schlegel)			
9	イトヨ (イトヨ降海型)	トゲウオ目・トゲウオ科	B	該当なし
	<i>Gasterosteus aculeatus aculeatus</i> Linnaeus			
10	トミヨ及びイバラトミヨ	トゲウオ目・トゲウオ科	B	該当なし
	<i>Pungitius pungitius sinensis</i> (Guichenot) (トミヨ)、 <i>P. pungitius pungitius</i> (Linnaeus) (イバラトミヨ)			
11	シロウオ	スズキ目・ハゼ科	C	NT
	<i>Leucopsarion petersi</i> Hilgendorf			
12	アユカケ (別名 カマキリ)	カサゴ目・カジカ科	D	該当なし
	<i>Cottus kazika</i> Jordan et Starks			
13	カジカ (カジカ両側回遊型 (小卵型・中卵型))	カサゴ目・カジカ科	D	該当なし
	<i>Cottus pollux</i> Günther			
14	アカオビシマハゼ	スズキ目ハゼ科	D	該当なし
	<i>Tridentiger trigonocephalus</i> (Gill)			
15	ヒモハゼ	スズキ目ハゼ科	D	該当なし
	<i>Eutaeniichthys gilli</i> Jordan and Snyder			
16	チチブ	スズキ目・ハゼ科	D	該当なし
	<i>Tridentiger obscurus</i> (Temminck et Schlegel)			
17	アブラハヤ	コイ目・コイ科	LP (大和沢川の透明鱗アブラハヤ)	該当なし
	<i>Phoxinus lagowski steindachneri</i> Sauvage			
18	ウグイ	コイ目・コイ科	LP (宇曽利山湖の耐酸性ウグイ)	該当なし
	<i>Tribolodon hakonensis</i> (Günther)			
19	サクラマス (通称 スギノコ)	サケ目・サケ科	LP (大畑川陸封型サクラマス)	該当なし
	<i>Oncorhynchus masou masou</i> Brevoort			
20	ニシン	ニシン目・ニシン科	LP (尾駮沼系群ニシン)	該当なし
	<i>Clupea pallasii</i> (Cuvier et Valenciennes)			